

3 令和元年度の取組結果及び評価

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度		
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)			経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)		見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所
						具体的な内容	評価	成果・実績		評価	①に対する進捗状況		
1. 「組織」、「ひと」の改革													
(1) マネジメントシステムの強化													
	1	トップマネジメントの強化	<p>幹部会議において重要な意思決定を戦略的に行い、行政の適正かつ効果的な執行と、迅速な課題対応を図ります。</p> <p>【関係する計画等】 ・幹部会議規則</p> <p>【目標】 ◇幹部会議開催回数 8回</p>	<p>◇幹部会議での審議・調整を充実させ、トップマネジメントの強化を図ります。</p> <p>【目標】 ◇幹部会議開催回数 8回</p>	<p>◇定期的な幹部会議に加え、必要に応じて臨時会を開催し、統一のある町政を能率的に遂行しました。</p> <p>－</p>	<p>◇幹部会議を10回開催することにより、トップマネジメントの強化を図りました。</p> <p>【実績】 ◇幹部会議開催回数 10回</p>	－	<p>◇順調に進捗しています。</p> <p>A</p>	<p>－</p> <p>－</p> <p>◇幹部会議での審議・調整を充実させ、トップマネジメントの強化を図ります。</p> <p>【目標】 ◇幹部会議開催回数 8回</p>				
	2	各部の執行体制の強化	<p>各部の執行責任を明確にし、進捗管理の徹底を、さらに進めます。</p> <p>【関係する計画等】 ・部長等連絡会議設置要綱 ・人事評価実施規程</p> <p>【目標】 ◇部長等連絡会議開催回数 16回 ◇ストレスチェックにおける次長・課長級職員の「上司の支援」の平均点数 8.5点</p>	<p>◇部長等連絡会議を定期的で開催し、横断的な情報共有、連携、調整を図ります。</p> <p>◇人事評価（業績評価）等により部長級職員の権限、責任を明確にし、進捗管理の徹底を図ります。</p> <p>【目標】 ◇部長等連絡会議開催回数 12回 ◇ストレスチェックにおける次長・課長級職員の「上司の支援」の平均点数 8.5点</p>	<p>◇町政運営の方針及び重要な事務事業の周知、町政に関する情報の交換を行いました。</p> <p>◇人事評価（業績評価）を上半期（4月～9月）と下半期（10月～3月）の2回実施し、行政課題の進捗管理を徹底しました。</p> <p>－</p>	<p>◇部長等連絡会議を定期的で開催し、横断的な情報共有等を行いました。</p> <p>◇担当業務に関し課題や目標を設定する人事評価（業績評価）を実施し、計画的・主体的な職務遂行に取り組みました。</p> <p>◇目標値（ストレスチェックにおける次長・課長級職員の「上司の支援」の平均点数）の実績は、目標値に達していませんが、前年度対比0.2点上昇しています。</p> <p>【実績】 ◇部長等連絡会議開催回数 12回 ◇ストレスチェックにおける次長・課長級職員の「上司の支援」の平均点数 8.1点</p>	－	<p>◇順調に進捗しています。</p> <p>B</p>	<p>－</p> <p>－</p> <p>◇部長等連絡会議を定期的で開催し、横断的な情報共有、連携、調整を図ります。</p> <p>◇人事評価（業績評価）等により部長級職員の権限、責任を明確にし、進捗管理の徹底を図ります。</p> <p>【目標】 ◇部長等連絡会議開催回数 13回 ◇ストレスチェックにおける次長・課長級職員の「上司の支援」の平均点数 8.5点</p>				

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価				①に対する進捗状況
		3	コンプライアンスの徹底	<p>職員の規範意識を高め、町民から信頼される行政運営を行います。</p> <p>【関係する計画等】 ・公益通報取扱要綱</p> <p>【目標】 ◇研修受講者数（3年周期で一般職員、監督者、管理者を対象に研修会を継続実施）</p>	<p>◇職員に求められる姿勢や心構えを明確にするとともに、研修を実施し、法令等の理解と規範意識の向上を図ります。</p> <p>【目標】 ◇研修受講者数157人（監督者）</p>	<p>◇人事評価研修において規範意識を高める内容の研修を実施しました。</p> <p>◇定期的に職員に対し自治体法務に関する情報提供を行い、法制能力の向上に努めました。</p>	B	<p>◇職員が順守すべき事項等を明確にし、項目ごとに評価する人事評価（能力評価）を行い、規範意識の向上への自覚化を図りました。</p> <p>【実績】 ◇研修受講者数58人（監督者）</p>	B	－	<p>◇目標値を達成できていませんが、研修の実施は計画どおり進捗しています。</p>	B	－	<p>◇職員に求められる姿勢や心構えを明確にするとともに、研修を実施し、法令等の理解と規範意識の向上を図ります。</p> <p>【目標】 ◇研修受講者数42人（管理者）</p>
		4	行政評価の継続的な実施	<p>行政評価により、施策・事務事業が効果的かつ効率的に展開されているかを評価・検証し、施策実現に向けて必要となる事業改善を行います。</p> <p>【関係する計画等】 ・行政評価実施要綱</p>	<p>◇事務事業の年度計画を策定します。</p> <p>◇施策評価・事務事業評価を実施し、的確な進捗管理を行います。</p>	<p>◇町民視点でより分かりやすい内容となるよう、評価会議を重ね、行政評価の内容の精査を行いました。</p>	B	<p>◇事務事業の年度計画を策定するとともに、行政評価を実施しました。結果についてはホームページで公表し、的確な進捗管理を行いました。</p>	A	－	<p>◇順調に進捗しています。</p>	A	－	<p>◇事務事業の年度計画を策定します。</p> <p>◇施策評価・事務事業評価を実施し、的確な進捗管理を行います。</p>
(2) 適切な組織管理														
		1	横断的な組織対応体制の推進	<p>組織の枠を超えて人的資源を有効活用し、機能的・効率的な業務推進体制を確立します。</p> <p>【関係する計画等】 ・定員管理計画</p>	<p>◇期間限定的に業務量が増大する部署において、部内外の連携や業務経験者による応援体制、柔軟な臨時職員の配置等を行います。</p> <p>◇機能強化が必要な分野で、組織の枠を超えて横断的に業務を推進します。</p>	<p>◇期間限定的に業務量が増大した部署への部内外応援体制を実施しました。</p> <p>◇病気休暇取得に対応して臨時職員を雇用しました。</p>	B	<p>◇柔軟な応援対応を行い、時間外勤務の縮減も見据えつつ、効率的・機動的な業務推進を図りました。</p>	A	－	<p>◇順調に進捗しており、今後も、組織の枠を超えてより機能的・効率的な業務推進を図ることができるよう、体制の検討を行っていきます。</p>	B	－	<p>◇期間限定的に業務量が増大する部署において、部内外の連携や業務経験者による応援体制、柔軟な会計年度任用職員(臨時)の配置等を行います。</p> <p>◇機能強化が必要な分野で、組織の枠を超えて横断的に業務を推進します。</p>
		2	組織機構の見直し	<p>組織機構の見直しにより、効率的でスリムな組織体制を構築します。</p> <p>【関係する計画等】 ・事務分掌条例 ・事務組織規則</p>	<p>◇組織機構改革の実施検証として業務量調査を継続して実施し、業務の効率性を数値化して進捗管理を図ります。</p>	<p>◇組織機構改革を実施し、新たな組織体制による町政運営を開始しました。</p>	B	<p>◇組織機構改革初年度のため、業務量の正確な把握が困難であると判断し、業務量調査の実施を見送りました。</p>	B	－	<p>◇町民目線での窓口再編、組織の強化、効率的な組織という視点から組織の見直しを行い、組織機構改革を実施しました。</p>	A	－	<p>◇新たな組織体制やリニューアルした窓口について来庁者アンケートを実施し、機構改革の効果・検証の基礎資料とします。</p>

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価				①に対する進捗状況
		3	定員適正化の推進	定員管理計画を策定し、適切な定員管理を行います。 【関係する計画等】 ・定員管理計画	◇定員管理計画を策定します。	◇非常勤職員配置の見直しを行いました。 ◇他自治体における定員管理計画に係る情報を収集しました。	C	◇組織機構の見直しを踏まえて、非常勤職員の配置を行いました。 ◇定員管理計画策定へ向け、情報収集を行いました。	C	－	◇順調に進捗しているとは言えない状況ですが、引き続き検討を行います。	B	－	◇定員管理計画の方向性を検討します。
		4	時間外勤務の縮減	時間外勤務及び長時間労働者（月60時間以上の時間外勤務）の縮減を図り、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ります。 【目標】 ◇年間時間外勤務時間数（選挙事務、災害を除く） 28,500時間 ◇長時間労働者数 延べ17人	◇業務の進捗管理を徹底します。 ◇面談を通して、業務の平準化や相互サポートを進めます。 ◇四半期ごとに時間外勤務等の状況を共有するとともに、時間数の伸びが顕著な課等は、ヒアリングを実施し、長時間労働の抑制を図ります。	◇時間外勤務等縮減への取り組みとして、通知を行い、業務の進捗管理、職員協力体制の推進、勤務時間の状況把握を図りました。 ◇働き方改革への取り組みとして、時間外勤務の上限規制を設けました。 ◇各課ごとの時間外勤務数を公表し、勤務状況の共有を図りました。	B	◇組織機構の見直しに伴う業務の早期定着への対応等により、年間時間外勤務時間数は目標値を大幅に超過しています。 ◇長時間労働者数の延べ人数についても、目標値を大幅に超過しています。	C	－	◇計画に対しての取り組みを進めています が、大規模な組織機構改革という特殊事情により、目標値を大幅に超過しています。	C	◇令和元年度は特殊事情により目標値を大幅に超過していますが、早期の業務の定着化を図ることを第一としながら、引き続き時間外勤務及び長時間労働者の縮減を図ります。	◇業務の進捗管理を徹底します。 ◇面談を通して、業務の平準化や相互サポートを進めます。 ◇四半期ごとに時間外勤務等の状況を共有するとともに、時間数の伸びが顕著な課等は、ヒアリングを実施し、長時間労働の抑制を図ります。
					－								－	【目標】 ◇年間時間外勤務時間数（選挙事務、災害を除く） 29,700時間 ◇長時間労働者数 延べ29人
														【目標】 ◇年間時間外勤務時間数（選挙事務、災害を除く） 29,500時間 ◇長時間労働者数 延べ27人

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度		
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価			
		5	多様な人材の活用	<p>女性職員の能力の積極的な活用、再任用制度、任期付職員制度等の活用により、多様な能力を有する人材の活用を図ります。</p> <p>また、働き方に対する職員の意識改革を進め、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。</p> <p>【関係する計画等】 ・特定事業主行動計画 ・男女共同参画プラン</p>	<p>◇女性職員のキャリア形成と能力開発を促進します。</p> <p>◇再任用、臨時・非常勤職員の活用拡大を検討します。</p> <p>◇働き方に対する職員の意識改革を進め、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。</p>	<p>◇女性職員のキャリア形成と能力開発を促進するための研修及び仕事を効果的・効率的に進める手法を習得するための研修に参加しました。</p> <p>◇再任用、臨時・非常勤職員の活用拡大を検討しました。</p> <p>◇働き方に対する職員の意識改革、ワーク・ライフ・バランスの一環として、男性職員の育児休業を促しました。</p>	B	<p>◇女性職員の管理監督職への登用を着実に進めました。</p> <p>◇男性職員3名が育児休業を取得するとともに、臨時・非常勤職員を積極的に活用しました。</p>	B	—	<p>◇3指標ともに目標値には若干到達していませんが、概ね順調に進捗しています。</p>	B	<p>◇女性職員のキャリア形成と能力開発を促進します。</p> <p>◇再任用、臨時・非常勤職員の活用拡大を検討します。</p> <p>◇働き方に対する職員の意識改革を進め、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。</p>
				—	<p>【目標】 ◇係長級以上職員に占める女性割合 23.0% ◇消防吏員に占める女性割合 3.7% ◇審議会委員等に占める女性割合 36.7%</p>	—	<p>【実績】 ◇係長級以上職員に占める女性割合 20.0% ◇消防吏員に占める女性割合 3.5% ◇審議会委員等に占める女性割合 34.0%</p>		—	<p>【目標】 ◇係長級以上職員に占める女性割合 25.4% ◇消防吏員に占める女性割合 5% ◇審議会委員等に占める女性割合 38.0%</p>	—		
<p><行政評価> ◇啓発活動実施回数（男女共同参画推進事業）</p>													
<p>(3) 人材育成の推進</p>													
		1	効果的な職員研修の実施	<p>各種研修を計画的に実施し、職階に応じた基礎的資質・能力の向上と職員の意識改革を図ります。</p> <p>【関係する計画等】 ・人材育成基本方針 ・職員研修計画</p>	<p>◇階層別研修、問題解決や、政策形成能力などを高める課題別研修を活用し、効果的な職員研修を実施します。</p> <p>◇時代や社会の環境変化等に対応できる職員を育成するため、次期人材育成基本方針を策定します。</p>	<p>◇研修に参加しやすくなるため、研修情報を積極的に発信しました。</p> <p>◇他自治体における人材育成基本方針に係る情報を収集しました。</p>	B	<p>◇目標値を下回っていますが、前年度実績を上回り目標値に近づけることができました。</p> <p>◇人材育成基本方針策定へ向け、情報収集を行いました。</p>	B	—	<p>◇目標値には若干到達していませんが、概ね順調に進捗しています。</p>	B	<p>◇階層別研修、問題解決や、政策形成能力などを高める課題別研修を活用し、効果的な職員研修を実施します。</p> <p>◇時代や社会の環境変化等に対応できる職員を育成するため、次期人材育成基本方針を策定します。</p>
				<p>【目標】 ◇1年に1回以上研修を受けている職員の割合 44.2%</p>	<p>【目標】 ◇1年に1回以上研修を受けている職員の割合 37.2%</p>	—	<p>【実績】 ◇1年に1回以上研修を受けている職員の割合 36.3%</p>		—	<p>【目標】 ◇1年に1回以上研修を受けている職員の割合 38.3%</p>	—		
<p><行政評価> ◇職員の研修参加者の延べ人数</p>													

- ・ 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- ・ 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- ・ 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度		
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価			
		2	職場研修（OJT）の充実	<p>きめ細かな職場研修を全庁的に推進し、職員の人材育成と意識改革を図ります。</p> <p>【関係する計画等】 ・人材育成基本方針</p> <p>【目標】 ◇ストレスチェックにおける課長補佐級以下職員の「上司の支援」の平均点数 8.0点</p>	<p>◇各課・係で職場研修を行います。</p> <p>◇定期的にヒアリングを実施し、管理監督者への啓発を強化します。</p>	<p>◇新規採用職員1名に対し育成担当職員を1名指名し、職場研修を実施しました。また、機構改革に伴い事務分担任の変更が発生する部署において、勉強会を実施しました。</p>	<p>◇職場研修を強化し、職員の人材育成と意識改革を図りました。</p> <p>◇管理監督者への啓発を強化しました。</p>	—	—	<p>◇順調に進捗しています。</p>	—	<p>◇各課・係で職場研修を行います。</p> <p>◇定期的にヒアリングを実施し、管理監督者への啓発を強化します。</p>	
				—	—	—	—	—	—	<p>【実績】 ◇ストレスチェックにおける課長補佐級以下職員の「上司の支援」の平均点数 8.0点</p>	—	<p>【目標】 ◇ストレスチェックにおける課長補佐級以下職員の「上司の支援」の平均点数 8.0点</p>	
		3	笑顔あふれる役場創出の推進	<p>職員の意識改革と職場風土の改善により、全庁一丸となって住民に寄り添った行政を展開します。</p>	<p>◇「行動指針」を策定し、職員に求められる姿勢、心構えを明確にします。</p> <p>◇研修を実施するとともに、所属ごとに重点取組の目標を設定し、職員意識の醸成と職場風土の改善を図ります。</p> <p>◇執務環境の改善・整備を行い、事務効率の向上を図ります。</p>	<p>◇窓口・電話対応についての接遇調査を実施しました。</p> <p>◇職員がうまくストレスに対処できるよう、メンタルヘルス（セルフケア）研修を実施するとともに、達成力や自信を高める内容の研修情報を発信しました。</p>	<p>◇研修を実施し、職員のモチベーション向上を図りました。</p> <p>◇人事評価（業績評価）において、管理職員の目標項目に掲げるにより、全庁的に取り組みました。</p>	—	—	<p>◇順調に進捗しています。</p>	—	<p>◇研修を実施するとともに、所属ごとに重点取組の目標を設定し、職員意識の醸成と職場風土の改善を図ります。</p> <p>◇執務環境の改善・整備を行い、事務効率の向上を図ります。</p>	
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		4	職員の自己啓発の促進	<p>公務に有益な資格取得の支援や、自主研究グループ等に対する支援を行い、職員の自己啓発を促進します。</p> <p>【関係する計画等】 ・人材育成基本方針</p> <p>【目標】 ◇公務に有益な資格取得者数 15人</p>	<p>◇公務に有益な資格取得及び自主研究グループ等に対する支援を行い、職員の自己啓発を促進します。</p>	<p>◇簿記検定においては、グループ勉強会を実施しました。</p> <p>◇自治体法務、簿記、秘書の各検定におけるテキスト、受験費用の支援を実施しました。</p>	<p>◇積極的な学習機会の支援を行い、職員の自己啓発の促進に大きく寄与しました。</p>	—	—	<p>◇目標値には至りませんが、順調に進捗しています。</p>	—	<p>◇公務に有益な資格取得及び自主研究グループ等に対する支援を行い、職員の自己啓発を促進します。</p>	
				—	—	—	—	—	—	—	—	<p>【目標】 ◇公務に有益な資格取得者数 15人</p>	
		5	人事評価制度の充実	<p>職員の能力・業績を適正に評価することにより、職員一人一人の能力を向上させ、組織全体の底上げを図ります。</p> <p>【関係する計画等】 ・人事評価実施規程</p>	<p>◇改善の方向性を定め、人事評価制度の見直しを行います。</p>	<p>◇全職員を対象に被評価者、評価者、確認者研修を実施しました。</p> <p>◇改善に係る課題を整理しました。</p>	<p>◇全職員を対象とした研修を実施し、評価・被評価能力の向上を図りました。</p>	—	—	<p>◇順調に進捗しています。</p>	—	<p>◇評価者及び確認者各個人の評価の統一性を浸透させる取り組みを検討します。</p>	
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度		
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)		見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価			①に対する進捗状況
2. 「仕事」、「サービス」の改革													
(1) 事務改善の推進													
	1	業務マニュアルの共有化	定例業務のマニュアル化を進め、事務の標準化、効率化を図るとともに、担当職員の固定化の解消、事務引継ぎの効率化を図ります。また、業務内容の情報共有により、窓口案内の充実を図ります。	◇順次、定例業務や事務作業のマニュアル化を進めます。 ◇業務内容の情報共有により、窓口案内の充実を図ります。	◇組織機構の見直しに伴う業務の早期定着への対応等を最優先としたため、業務のマニュアル化は特段進んでいません。	C	◇組織機構改革を契機として、総合案内の充実を図りました。	B	－	◇目的達成に向けた工程を整理する必要があります。	B	－	◇順次、定例業務や事務作業のマニュアル化を進めます。 ◇業務内容の情報共有により、窓口案内の充実を図ります。
	2	共通事務の見直し	共通事務の集約により効率化を図り、各課等の事務負担を軽減します。	◇業務量調査により可視化した業務内容について、集約、効率化が可能な共通事務の洗い出しを行います。	◇業務量調査を元に、窓口部署を中心として、各課の具体的な業務フローの現状把握等を実施しました。	B	◇現状把握等はできませんでしたが、共通事務の洗い出しまで至りませんでした。	B	－	◇目的達成に向けた工程を整理する必要があります。	B	－	◇共通化できる事務に関し、システムの活用も含め研究・検討を進めます。
	3	民間活力の活用	民間活力を活用し、効率的・効果的な業務の執行と住民サービスの向上を目指します。	◇業務量調査により可視化した業務内容について、民間活力を活用して効率的・効果的な運営がなされている先進事例を参考に、民間委託による業務の効率化や費用対効果を研究します。	◇民間が実施する助成事業を利用して、社会体育施設の効率的な運営を図るため、施設予約システムの導入を検討しました。	B	◇社会体育施設の予約システム導入費を令和2年度予算に計上しました。	B	－	◇順調に進捗しています。	B	－	◇民間活力を活用して効率的・効果的な運営がなされている先進事例を参考に、民間委託による業務の効率化や費用対効果を研究します。
	4	まちの魅力発信	府中町のイメージと認知度の向上に向けた戦略的な情報発信を強化します。	◇シティプロモーション戦略に基づき、各種媒体を通じたまちの魅力発信事業を進めます。 ◇職員の情報発信力を向上させるため、研修を実施します。	◇新たなメディアとしてLINE・インスタグラムの活用を始めるとともに、PR大使と連携した家族キャラクターの設定、アニメーション制作等、新たな魅力づくりを進めました。 ◇職員の情報発信力を向上させるため、研修を実施しました。	B	◇町の認知度について、県内認知度は前年とほぼ横ばいながら、民間調査において住みこころがよいまち、住みたいまちと評価されるなど、事業は着実に成果を挙げています。 ◇平成30年7月豪雨災害を除くと、ホームページ閲覧件数も増加しており、一定程度効果があったとらえています。	A	－	◇計画どおり進捗しています。	B	－	◇シティプロモーション戦略に基づき、町民と協働での情報発信や、PRアニメなど新たな媒体を通じたまちの魅力発信を進めます。 ◇職員の情報発信力を向上させるため研修を実施するとともに、ホームページリニューアルに向けた準備を進めます。
<行政評価> ◇ホームページ閲覧件数 ◇報道機関を通じた行政情報の発信件数													

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)			経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)		見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価	成果・実績		評価				①に対する進捗状況
		5	指定管理者制度の推進（社会教育・体育施設）	サービス向上や経費削減に向けて、管理運営方法の抜本的な見直しを行います。	◇委託している業務について指定管理できるように目指します。	◇指定管理導入の方向性について現状を踏まえ再検証し、今後の方針を整理しました。	C	◇指定管理への準備段階として、翌年度から社会教育課業務（体育施設受付業務）を委託拡大するよう進めました。	B	－	◇時間を要し作業が遅れたものの、指定管理に向けて、今後の方向性を固めることができました。	B	－	◇指定管理に向けた課題を整理し、解決に向け計画的に取り組みを進めていきます。
		6	事務改善の取り組み	職員一人一人が主体的に、事務改善や事業の見直しに取り組むことにより、一層の事務効率の向上と住民サービスの向上を目指します。	◇全庁で改善の情報を共有し、課や係単位での改善を推進します。 ◇積極的に、施策の充実や事務改善の提案ができるよう、職員提案制度を充実し、環境整備を図ります。	◇14件の事務の改善に取り組みました。	C	◇事務の改善に取り組みましたが、目標値の件数には至りませんでした。個人や各課レベル等現場の取り組みを集約する手法が確立されておらず、課題となっています。	B	－	◇個々の事務改善の取り組みは進んでいるものの、それを全庁的にフィードバックさせる段階までは至っていない状況です。	B	－	◇全庁で改善の情報を共有し、課や係単位での改善を推進します。
				【目標】 ◇事務改善の取り組み実施数 毎年度30件	【目標】 ◇事務改善の取り組み実施数 30件	－		【実績】 ◇事務改善の取り組み実施数 14件						【目標】 ◇事務改善の取り組み実施数 30件
(2) 情報システムの最適化														
		1	行政情報システムの再構築	総合行政情報システムネットワークの再構築により、情報システムの簡素化、効率化、合理化を図るとともに、電算事務経費の削減を図ります。	◇導入から運用、次期システム更改までの全体的な費用が削減する調達、運用を研究します。 ◇広島県市町基幹業務系クラウドサービス共同利用・共同調達への参加を検討します。	◇複数のベンダーから共同調達の聞き取りを実施しました。また、介護・後期クラウドシステム導入時にカスタマイズの見直し作業を取り入れました。	B	◇介護・後期システムのクラウド化を実施し、カスタマイズを9件（39件→30件）削減できました。 ◇滞納管理システムの調達について、ベンダー調整を進めました。	B	－	◇特定の業者に依存せず、原則競争による調達を行う方向で再構築の事務を進めています。	B	－	◇特定の業者に依存しない適切なハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク及びサポートサービスの実現に向けて、行政情報システム最適化の指針及びロードマップを策定します。
		2	学校情報システムの再構築	学校情報システムの再構築により、強靱化と利便性向上を図ります。	◇ネットワークの再構築は、今後学校ICT環境にに合わせて、時期と方法を再検討します。 ◇校務支援システムについては、効果的な導入を目指します。	◇校務支援システムの導入に向け、6月に公募型プロポーザルを実施し、その後、契約締結をしました。	B	◇校務支援システムの導入により、校務の標準化・業務改善を行い、教職員の業務負担軽減及び教育の質的向上を図りました。	A	－	◇校務支援システムの契約締結を完了するとともに、3学期から利用を開始しました。 ◇GIGAスクール構想に基づき、校内通信ネットワークの整備に係る費用を予算化しました。	A	－	◇GIGAスクール構想に基づき、全児童・生徒の学習者用端末を整備します。

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度							令和2年度		
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)			経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所
						具体的な内容	評価	成果・実績		評価	①に対する進捗状況			
		3	情報セキュリティ対策の強化	ICT化された業務における個人情報等の流出を防ぐため、情報セキュリティ対策を強化します。 【関係する計画等】 ・情報セキュリティポリシー	◇随時情報セキュリティポリシーの見直しを行い、継続して職員研修を行います。 ◇物理的、技術的に情報システムの強靱化を図ります。	◇座学研修とE-ラーニング研修を実施し、併せて特定個人情報に関する研修を実施しました。情報セキュリティポリシーについて、会計年度任用職員等の制度創設に伴う規定の変更を行いました。	◇全体向け及び特定個人情報扱う職員向けのセキュリティ研修を実施しました。研修参加率は74%でした。また、セキュリティポリシーについて改定を行いました。	A	－	◇セキュリティ研修に関し、欠席した職員には別途E-ラーニングによる研修を実施するなど、順調に進捗しています。	A	－	◇随時情報セキュリティポリシーの見直しを行い、継続して職員研修を行います。 ◇物理的、技術的に情報システムの強靱化を図ります。	
		4	定型業務の効率化	パソコン等の機能を有効に活用し、仕事のしかたや処理方法の改善なども含めて、創意工夫により、業務改善を図ります。	◇定型業務の効率化に向けて、庁内サポート体制を整備し、創意工夫による業務改善の働きかけと支援を行います。	◇RPAテクノロジーの共同導入を目指し、他団体とともに学習会を開催しました。また、県主催の実務研修会に参加しました。	◇定型業務の効率化へ向け、ハード面の情報収集や研究を進めました。	B	－	◇RPAベンダーの情報収集は継続的に実施していますが、実用化には相当な時間を要します。	B	－	◇定型業務の効率化に向けて、庁内サポート体制を整備し、創意工夫による業務改善の働きかけと支援を行います。	
(3) 協働の推進														
		1	多様な主体との連携の強化	多様な担い手との連携を強化し、積極的に協働を推進します。	◇町内の各種団体、企業等や、近隣の大学等について情報収集、協働の可能性を研究します。 ◇協働事業の情報を一元化します。	◇広島修道大学、広島市立大学の学生をインターンシップで受け入れました。 ◇協働事業の情報を一元化するため、各課に照会し、協働事業の取りまとめを行いました。	◇インターンシップについては、広島修道大学3人、広島市立大学1人を受け入れました。 ◇協働事業の取りまとめの結果、37件の事業を収集しました。	B	－	◇大学とは個別に協働を進めています。 ◇協働事業の情報を一元化しました。	B	－	◇他市町や近隣大学等の協働推進に係る情報収集等を行います。 ◇協働事業の取り組みの方向性を具体化します。	
		2	地域活動情報の発信強化	地域活動団体の活動を積極的に情報発信し、地域活動への参加・参画を促進します。	◇地域活動団体の活動情報を一元化し、情報発信を行ないます。	◇広島市の地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」を広島広域都市圏で共同利用し、町内会を紹介しました。	◇町内会からの情報提供をもとに、延べ33件の情報発信を行いました。	B	－	◇町内会の情報発信に取り組んでいます。今後は、視聴者の興味をより高めるような工夫が必要です。	B	－	◇町内会の紹介のみでなく、活動報告なども積極的に情報発信し、若年層に向けたアピールを行います。	
<行政評価> ◇活動団体登録数														

- ・ 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- ・ 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- ・ 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価				①に対する進捗状況
		3	地域防災力の向上	住民の防災意識の醸成とともに、自主防災組織等の育成支援を行います。自主防災組織や防災士、防災リーダー等と行政が連携した地域防災力向上の仕組みづくりを推進します。	◇啓発事業を継続して実施します。 ◇自主防災組織等の育成、活動支援を行います。 ◇自主防災組織等と行政が連携した取り組みを進めます。	◇自主防災組織、いきいきサロン、各学校での出前講座や体験学習等を実施しました。 ◇自主防災組織で使用する防災資器材購入費や防災普及啓発活動費、防災士資格取得費に対して補助金を交付しました。	B	◇防災出前講座・体験学習を38回実施し、住民の防災意識の向上を図りました。 ◇防災活動支援補助金を12自主防災組織に交付しました。	B	－	◇地域防災力向上の仕組みづくりの一環として、自主防災組織等と連携し、災害時の避難の呼びかけ体制を構築しています。	B	◇啓発事業を継続して実施します。 ◇自主防災組織等の育成、活動支援を行います。 ◇自主防災組織等との連携により、災害ボランティアや関係団体と課題の共有を図り、地域の実情に応じた防災・減災の取り組みを進めます。	
				－	【目標】 ◇啓発事業の実施回数30回	－		【実績】 ◇啓発事業の実施回数38回			－	【目標】 ◇啓発事業の実施回数30回		
				＜行政評価＞ ◇自主防災組織の組織率										
		4	子どもボランティアによる地域交流	子どもボランティアによる企画・運営事業を継続して開催し、子どもたちの居場所づくりや世代間交流を推進します。	【関係する計画等】 ・子ども・子育て支援事業計画	【目標】 ◇子どもボランティアの登録人数 ・こども委員会 25人 ・中高生委員会 35人	◇子どもボランティアによる企画・運営事業を継続して開催し、子どもたちの居場所づくりや世代間交流を推進します。 ◇中高生カフェを1回実施しました。	B	◇子どもボランティアによる企画・運営事業を継続して開催し、子どもたちの居場所づくりや世代間交流を推進しました。	B	－	◇目標値には達していませんが、概ね順調に進捗しています。	B	◇子どもボランティアによる企画・運営事業を継続して開催し、子どもたちの居場所づくりや世代間交流を推進します。
													【目標】 ◇子どもボランティアの登録人数 ・こども委員会 15人 ・中高生委員会 30人	
		5	協働による健康づくり活動の推進	住民、関係機関、関係団体等との連携を図り、住民の参加・参画、協働による健康づくり活動を推進します。	【関係する計画等】 ・健康増進計画・食育推進計画	◇住民、関係機関、関係団体等の参加・参画、協働による健康づくり活動を実施します。 ◇住民が、主体的に参加・参画し、人のつながりを深めながら活動していくための仕組みづくりを研究します。 ◇「第2次健康増進計画・食育推進計画(改定版)」に基づき、事業を推進します。	◇朝ハッ君ネットワーク登録団体及び実践活動グループ等の参画、協働により健康づくり活動を実施しました。 ◇朝ハッ君ネットワーク会議を開催し、健康づくり活動に住民が主体的に参加・参画できる仕組み等について協議しました。 ◇「第2次健康増進計画・食育推進計画(改定版)」に基づき、事業を推進しました。	B	◇朝ハッ君ネットワーク登録団体及び実践活動グループ等の参画、協働により、特に食育及び健康づくりへの取り組みを強化できました。 ◇活動の主体である団体や住民等による協議を行うことで、意識を醸成することができました。 ◇計画に基づいた事業を推進しました。	A	－	◇順調に進捗しています。	A	◇住民、関係機関、関係団体等の参加・参画、協働による健康づくり活動を実施します。 ◇住民が、主体的に参加・参画し、人のつながりを深めながら活動していくための仕組みづくりを実践します。
				＜行政評価＞ ◇健康づくり活動への参加者数										

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価				①に対する進捗状況
	6		パブリックコメントの推進	積極的に町の重要施策や計画に住民意見を反映させます。 【関係する計画等】 ・意見公募手続実施要綱 【目標】 ◇対象施策・計画のパブリックコメント実施率 100%	◇パブリックコメントの活用を促進します。	◇町の重要な計画の策定、公共施設の整備については、パブリックコメントを実施しました。	B	◇町の重要な計画の策定、公共施設の整備に際しては、住民意見を反映しました。	A	－	◇順調に進捗しています。	A	－	◇パブリックコメントの活用を促進します。
				審議会等での審議を活性化させ、積極的に、行政課題や施策の方向性に町民意見や専門知識を取り入れます。	◇議事の概要を記録する会議録の様式を共通化します。 ◇会議録は、法令等により会議が非公開とされている場合を除き、ホームページ等で公開します。	◇各部署で行っている審議会等の会議録のホームページ公開状況を把握しました。	B	◇公開を行っている会議録については概ね良好です。	B	－	◇公開を行っていない会議録もあり、調査等を進めます。	B	－	◇議事の概要を記録する会議録の様式を共通化します。 ◇会議録は、法令等により会議が非公開とされている場合を除き、ホームページ等で公開します。
(4) 質の高いサービス提供														
	1		申請手続の簡素化	申請手続の簡素化により、町民の利便性向上を図ります。	◇申請手続の一斉見直しを行い、申請手続の簡素化を図ります。	◇申請手続きのフローや必要書類などの調査を行いました。	B	◇調査内容については現在とりまとめ中です。	B	－	◇来庁が必要な手続きの縮減を目指し、電子申請システムの活用を各課へ案内しています。	B	－	◇来庁しなくてもよい環境を整備するため、電子申請システムの登録及び周知を図ります。
				マイナンバーカードの普及促進を図り、マイナンバーカードを活用した行政サービスの拡充を推進します。	◇本町における実情や住民ニーズを踏まえ、マイナンバーカードの独自利用に向けた情報収集と研究を行います。	◇他団体のマイナンバーカードの独自利用について、情報収集と研究を行いました。	B	◇目標値は達成しましたが、引き続き導入計画の検討を行います。	B	－	◇マイナンバーカードの多様な機能の一つであるマイキーID登録設定を担当課でできるよう端末を整備しました。	B	－	◇本町における実情や住民ニーズを踏まえ、マイナンバーカードの独自利用に向けた情報収集と研究を行います。
				－	【目標】 ◇マイナンバーカード普及率 16.4%	－	【実績】 ◇マイナンバーカード普及率 16.5%			－			－	【目標】 ◇マイナンバーカード普及率 18.4%
<行政評価> ◇証明書コンビニ交付割合														

- ・ 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- ・ 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- ・ 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価				①に対する進捗状況
		3	世代に応じた情報発信	さまざまな媒体を活用し、対象者に応じた的確な説明を行います。	◇高齢者等に対する丁寧な説明を行うため、既存パンフレットの見直しを行います。 ◇高齢者等への対応を習得するための研修を実施します。	◇職員を対象に高齢者の感覚を体験する研修会を実施しました。また、高齢者に役立つ情報をまとめた「高齢者のためのちょこっとお助け手帳」を作成しました。	B	◇高齢者の立場に立った職員対応スキルの向上を図りました。また、作成したお助け手帳を活用し、高齢者への情報発信を行いました。	A	－	◇順調に進捗しています。	A	－	◇若年層へのSNSやスマートフォンアプリケーションによる情報発信など、対象者に応じた情報発信を進めます。
		4	切れ目のない子育て支援サービスの充実	◇身近な相談支援の場として「ネウボラふちゅう」を開設し、母子保健・子育て支援サービスの充実を図ります。 【目標】 ◇母子保健相談支援事業の参加延べ人数 3,651人	◇母子保健相談支援事業を継続実施します。 【目標】 ◇母子保健相談支援事業の参加延べ人数 3,262人	◇身近な場所（町内3カ所）での相談支援や拡充した母子保健事業を継続して実施しました。	B	◇身近な場所での相談支援の実施等により、相談件数や事業参加者が前年度と比較増加しました。 【実績】 ◇母子保健相談支援事業の参加延べ人数 3,317人	A	－	◇順調に進捗しています。	A	－	◇母子保健相談支援事業を継続実施します。 【目標】 ◇母子保健相談支援事業の参加延べ人数 3,329人
※ネウボラ：ネウボラは、アドバイスをする場所を意味します。「ネウボラふちゅう」は、母子保健と子育て支援が一体となった窓口として、妊娠・出産・子育て期にわたる相談にコーディネーターが切れ目のない支援を行います。														
		5	福祉相談業務の事務改善と体制整備	記録・管理業務等の事務改善を進めるとともに、相談体制を整備し、さらに相談者に寄り添った対応を行います。	◇記録・管理業務の事務改善を図ります。 ◇介護保険の認定状況やサービスの利用内容について、最新の情報を把握し、適切なサービスの利用につなげます。	◇記録用フォーマットを統一することにより、事務処理に要する時間の短縮を図りました。また、即時の入力を心がけ実践しました。 ◇高齢者の相談受付時に、介護保険の認定状況やサービスの利用内容を踏まえた対応を行いました。	B	◇相談件数の増加に伴い、記録・管理業務量が増加しており、実績値は目標値に達していないうえ、前年度と比較しても増加しています。 ◇関係係が参加する合同ケースカンファレンスを開催しました。	B	－	◇相談体制は順調に進捗していますが、目標値の達成は困難な状況となっています。	B	－	◇令和3年度からの子ども家庭総合支援拠点の開設に伴い、様式改修が必要であるため、円滑に開始できるよう記録移行の準備を進めます。 ◇合同ケースカンファレンスを継続的に開催することにより、相談支援に関する対応力の向上を図ります。 【目標】 ◇家庭児童相談室の年間時間外勤務時間 180時間
				－	【目標】 ◇家庭児童相談室の年間時間外勤務時間 180時間	－		【実績】 ◇家庭児童相談室の年間時間外勤務時間 245時間					－	◇家庭児童相談室の年間時間外勤務時間 180時間

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度	
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)		見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価		
3. 「財政運営」の改革												
(1) 健全な財政運営の維持												
1			計画的な財政運営	<p>計画的な予算規模の適正化により、経常収支比率、将来負担比率を抑制し、健全な財政運営を維持します。</p> <p>【関係する計画等】 ・財政計画</p>	<p>◇財政指標の目標を設定した計画的な財政運営に向けて、経常収支比率、将来負担比率の変動要因（外部要因、内部要因）の分析、研究を行います。</p>	<p>◇目標に掲げた平成30年度決算に係る各指標について、その変動要因の分析を行いました。</p>	<p>◇目標に掲げた各指標とともに、対前年度比においては低減しましたが、対目標値においては経常収支比率と将来負担比率の2指標が未達成となりました。</p>	—	<p>◇一定程度の各指標の分析はできていますが、その要因が複合的かつ多面的であるため、「取り組みの目的」や「令和2年度計画内容」のような位置付けで財政運営を行うのは現時点では困難であり、更なる研究が必要です。</p>	<p>◇引き続き経常収支比率については、その低減策に係る検討が必要です。</p>	<p>◇経常収支比率、将来負担比率の目標を設定し、それを踏まえて第4次総合計画の後期実施計画（財政計画）を策定します。</p>	
				<p>【目標】 ※平成30年度決算 ◇経常収支比率 97.2% ◇実質公債費比率 9.0% ◇将来負担比率 96.4%</p>	B	—	B	—	C	—	<p>【目標】 ※令和元年度決算 ◇経常収支比率 96.9% ◇実質公債費比率 8.4% ◇将来負担比率 96.4%</p>	
<p><行政評価> ◇財政調整積立基金現在高</p> <p>※経常収支比率：地方公共団体の財政構造の弾力性を表す指標で、毎年度常に支出しなければならない経費に使われている一般財源が、自由に使える一般財源の総額と比してどの程度の割合を占めているかを表したものです。この比率が低いほど地方公共団体独自の施策に使える財源が多いといえます。</p> <p>※実質公債費比率：一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模を基本とした額に対する比率で、25%を超えると早期健全化団体、35%を超えると財政再生団体となります。また、18%以上になると地方債の発行に際し国の許可が必要となります。</p> <p>※将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率で、市町村（政令市を除く）では350%を超えると早期健全化団体となります。</p>												
2			公共施設等の計画的な更新と適正化	<p>公共施設等及び設備・備品等の長寿命化を図るとともに、中長期的な更新計画を財政計画に反映させ、財政運営の平準化と健全な財産管理を行います。</p> <p>【関係する計画等】 ・公共施設等総合管理計画</p>	<p>◇財政計画の見直しに着手します。</p>	<p>◇次期維持保全計画（建築物）の策定へ向け、対象建築物の現地踏査等を実施しました。</p>	<p>◇対象建築物に係る個別施設計画（施設カルテ）の作成に着手しました。</p>	—	<p>◇令和元年度も引き続き計画的な予防保全（鶴江地区センター等）を実施しました。建築物の長寿命化は今後も計画的に実施する予定ですが、設備・備品等に関しては個別に対応せざるを得ない状況となっています。</p>	—	<p>◇公共施設等及び設備・備品等の中長期的な維持・更新経費も踏まえ、第4次総合計画の後期実施計画（財政計画）を策定します。</p>	
<p><行政評価> ◇予防型改修の施設数（築15年未満の施設を対象）</p>												

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度		
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価			
		3	特定目的基金の計画的な運用	特定目的基金の計画的な運用により、公共施設やインフラ資産の改修、更新に必要な財源を安定的に確保します。	◇まちづくり振興基金について、公共施設の老朽化等を見据え、計画的に一定額を積み立てます。	◇令和元年度予算に計上のうえ、一般財源によりまちづくり振興基金への積み立てを行いました。	◇まちづくり振興基金に5,445千円を積み立てました。 ◇新たに法造化された森林環境譲与税について、水分峡森林公園等の災害復旧が終了するまでの間、森づくり基金へ積み立てることとし、予算化を行いました。	A	－	◇順調に進捗していません。	A	－	◇まちづくり振興基金について、公共施設の老朽化等を見据え、計画的に一定額を積み立てます。
		4	補助金等の適正化	補助金等の公平性、公益性、必要性及び適格性を確保し、限られた財源を有効に活用します。	◇補助金等明細書により、補助金等の必要性や妥当性、補助率や終期等を検証し、適正な金額への見直しや整理統合を図ります。	◇令和2年度予算編成に係る説明会において、注意喚起を行いました。また、一部の団体補助について見直しを行いました。	◇一部の補助金において、予算査定時に精査を行うことで見直しを実施しました。	B	－	◇引き続き、公平性、公益性、必要性及び適格性の確保を目的に、適正化を進めます。	B	－	◇第4次総合計画の後期実施計画へ向け、補助金等の必要性や妥当性、補助率や終期等を検証し、適正な金額への見直しや整理統合を図ります。
		5	業務委託の適正化	業務委託の適正化により、事務効率の向上と経費削減を図ります。	◇委託業務の仕様を精査し、業務の目的や範囲を明確にするとともに、業務内容の見直しを行い、委託業務の効率化とスリム化を図ります。	◇令和2年度予算編成過程において、個別に注意喚起を行いました。	◇目に見える効果にはつながりませんでした。	B	－	◇引き続き、業務委託の適正なあり方、実行可能な方策について研究を進めます。	B	－	◇随時、委託業務の仕様の点検と見直しを実施します。
(2) 自主財源の確保													
		1	課税事務の効率化と適正化	課税事務を効率化するとともに、課税客体の補足を充実させ、適正かつ公平な課税を行います。	◇定型業務の応援処理等により課税事務の効率化を図ります。 ◇住宅用地の認定調査や償却資産の確認調査を適正に実施します。	◇固定資産については、登記済通知書による地目変更等や建築確認等による滅失・新築等の町内全域現地調査を実施しました。償却資産については、TSR情報等による新設会社情報等により申告案内の送付を実施しました。	◇住宅用地の認定調査や償却資産の確認調査を適正に実施するとともに、引き続き定型業務の応援処理等により課税事務の効率化を図りました。	B	－	◇順調に進捗していません。	A	－	◇定型業務の応援処理等により課税事務の効率化を図ります。 ◇住宅用地の認定調査や償却資産の確認調査を適正に実施します。

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)			経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)		見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価	成果・実績		評価				①に対する進捗状況
		2	町税収納率の向上	納税しやすい環境整備と公平・公正な滞納整理により、収納率の向上を図ります。	◇納付勧奨、納税相談の実施、分納措置など、納税しやすい環境整備に取り組みます。 ◇電子納税の導入により、法人納税者の利便性向上を図ります。	◇毎月第3木曜日の夜間と6月・12月の第2日曜日に納税相談を実施しました。 ◇スマートフォンからの納税を開始するとともに、令和元年10月からは法人住民税等の電子納税を開始しました。	◇納税方法の多チャンネル化を展開し、納税者が納税しやすい環境を整備しました。		－	◇順調に進捗しています。	A	－	◇納付勧奨、納税相談の実施、分納措置など、納税しやすい環境整備に取り組みます。	
				【目標】 ◇町税の収納率（3月末現在）95.5%	【目標】 ◇町税の収納率（3月末現在）95.2%	－	【実績】 ◇町税の収納率（3月末現在）95.7%				－	【目標】 ◇町税の収納率（3月末現在）95.2%		
				<行政評価> ◇町税の収納率										
		3	債権管理の適正化	財源の安定的な確保のため、各種債権の徴収体制を強化し、収納率の向上を図ります。	◇債権管理（滞納整理）事務のノウハウの共有に取り組みます。	◇各種債権の徴収体制強化のため担当部署（債権管理課）を創設し、一部の債権について収納管理を一元化しました。	◇債権管理課による徴収の結果として、普通徴収の滞納繰越分において、対前年度比、介護保険料で約3,200千円、後期高齢者医療保険料で約1,200千円それぞれ増収となりました。		－	◇順調に進捗しています。	A	－	◇引き続き債権管理課による徴収を行います。 ◇第3次滞納管理システムを導入し、滞納整理の効率化を図ります。	
		4	受益者負担の適正化	使用料・手数料等の全体的な見直しを実施し、受益者負担の適正化を図ります。	◇適正な受益者負担と減免基準の適正な運用を行います。	◇消費税及び地方消費税の増税に伴い、公共施設使用料の増額改定を実施しました。また、公共施設の減免基準について調査・研究しました。	◇消費税及び地方消費税の増税に係る歳出増に対し、相応分の公共施設使用料の確保を図りました。		－	◇調査・研究を行った減免基準を基に、適正な受益者負担を反映した施設使用料のあり方に関する検討に着手しました。	B	－	◇適正な受益者負担と減免基準の適正な運用を行います。	
		5	その他財源の確保	広告事業の推進、ふるさと納税の促進、その他自主財源確保の取り組みを推進します。 【関係する計画等】 ・ふるさと応援寄附金要綱	◇ふるさと納税制度を拡充します。 ◇全庁を挙げて新たな広告媒体や自主財源確保の研究を進めます。	◇ふるさと応援寄附金の制度拡充には至りませんでした。寄附金額は目標値を上回りました。	◇目標値に対し、ふるさと応援寄附金は上回りましたが、有料広告収入は下回りました。目標値以外の実績として、活用予定のない土地の貸付により680千円を収入しました。		－	◇ふるさと応援寄附金の制度拡充は、令和2年度に予定しています。新たな自主財源の確保については、今後の検討課題です。	B	－	◇ふるさと納税制度を拡充します。 ◇全庁を挙げて新たな広告媒体や自主財源確保の研究を進めます。	
				【目標】 ◇ふるさと応援寄附金の金額 1,371千円 ◇有料広告収入の金額 1,587千円	【目標】 ◇ふるさと応援寄附金の金額 1,148千円 ◇有料広告収入の金額 1,495千円	－	【実績】 ◇ふるさと応援寄附金の金額 3,320千円 ◇有料広告収入の金額 575千円				－	【目標】 ◇ふるさと応援寄附金の金額 1,182千円 ◇有料広告収入の金額 1,510千円		

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度		
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)			経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)		見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所
						具体的な内容	評価	成果・実績		評価	①に対する進捗状況		
(3) 特別会計の健全運営													
	1		国民健康保険特別会計の健全運営	<p>予防関連事業等の取り組みを強化するとともに、国民健康保険税の収納率向上を図ります。</p> <p>◇口座振替の推進や滞納整理等により、収納率の向上を図ります。 ◇特定健康診査受診率とジェネリック医薬品の普及率の向上を図ります。 ◇継続して保健師による訪問指導を行います。</p>	<p>◇国民健康保険税の当初納税通知（普通徴収）にハガキタイプの口座振替依頼書を同封しました。 ◇特定健康診査の周知及び受診勧奨を次とおり実施しました。 ①昨年度に引き続き、受診期間を1月まで延長しました。 ②未受診者へ年3回通知を行いました。 ③つばきバス車内で案内掲示を行いました。 ④集団健康診査会場に啓発幟旗を設置しました。 ◇ジェネリック医薬品の周知及び普及を次とおり実施しました。 ①毎月対象者を抽出のうえ通知を行いました。 ②新規保険証交付時にカードを併せて交付しました。 ③公式ホームページや庁舎内スクリーンでPRしました。 ◇特定健康診査後、10月から2月にかけて特定保健指導対象者へ架電し、健康状態を把握しました。</p>	B	<p>◇口座振替の勧奨により、前年度同期と比較し、登録者が150件程度増加しました。 ◇各種取組により、特定健康診査受診率は37.0%となり、前年度同期の30.6%を上回りました。 ◇特定保健指導対象者へ177件架電しました。</p>	B	－	<p>◇順調に進捗しています。</p>	B	<p>◇口座振替の推進や滞納整理等により、収納率の向上を図ります。 ◇特定健康診査受診率とジェネリック医薬品の普及率の向上を図ります。 ◇継続して保健師による訪問指導を行います。</p>	
				<p>【目標】 ◇国民健康保険税の収納率（3月末現在） 77.5% ◇保健師による訪問指導件数 24件</p>	<p>【目標】 ◇国民健康保険税の収納率（3月末現在） 77.2% ◇保健師による訪問指導件数 10件</p>	－	<p>【実績】 ◇国民健康保険税の収納率（3月末現在） 85.1% ◇保健師による訪問指導件数 3件</p>	－	－	<p>【目標】 ◇国民健康保険税の収納率（3月末現在） 77.2% ◇保健師による訪問指導件数 14件</p>			
<行政評価> ◇ジェネリック医薬品の数量シェア ◇人間ドック受診者数													

- ・ 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- ・ 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- ・ 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)			経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)		見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価	成果・実績		評価				①に対する進捗状況
2	下水道事業会計の健全運営		公営企業会計の適用により、経理状況を明確にし、健全な運営を維持します。 【関係する計画等】 ・公共下水道整備計画 ・ストックマネジメント計画	◇供用開始区域内の公共下水道への接続を促進します。 ◇施設の長寿命化による更新経費の平準化や抑制、地方債の新規借入抑制等による将来負担の軽減等により、健全運営を維持します。	◇未接続世帯に対し、文書送付や戸別訪問による接続勧奨を行いました。 ◇府中ポンプ場の電気・機械の更新経費の平準化を図るための計画を策定しました。	◇241件の接続勧奨を実施したこともあり、実績値は目標値を上回りました。			◇順調に進捗しています。 ◇地方公営企業法の財務規定等の適用を開始しました。	◇供用開始区域内の公共下水道への接続を促進します。 ◇財務諸表により経営状況を分析し、健全運営を維持します。 ◇中長期的な事業経営の基本計画である経営戦略を策定することにより、下水道事業の運営目標をより明確にします。				
				－	【目標】 ◇公共下水道供用開始区域の水洗化率 92.0%	－	【実績】 ◇公共下水道供用開始区域の水洗化率 92.5%	－	－	－	【目標】 ◇公共下水道供用開始区域の水洗化率 92.0%			
＜行政評価＞ ◇公共下水道人口普及率 ◇下水道整備率 ◇管渠改修延長														
3	介護保険特別会計の健全運営		予防関連事業等や給付適正化の取り組みを強化するとともに、介護保険料の収納率向上を図り、健全運営を推進します。 【関係する計画等】 ・介護保険事業計画	◇口座振替の推進や督促、催告を行い、収納率の向上を図ります。 ◇ケアプランのチェックや縦覧点検など、給付の適正化を図ります。 ◇介護予防事業の充実を図り、サービス給付費の増加を抑制します。	◇滞納者に電話催告するときに口座振替の案内をし、口座振替依頼書を送付しました。 ◇ケアプランチェックは年3回15件程度、縦覧点検は月に1回実施しました。 ◇介護予防事業に係る各種教室・講座を開催しました。 ◇町の滞納処分の専門部署である債権管理課と連携し、催告事務を行いました。	◇口座振替の勧奨により、前年度同期と比較し、10件程度増加しました。 ◇給付の適正化を確認しました。 ◇介護予防事業の充実を図りました。 ◇催告書を2回、引継予告を1回、差押事前予告を1回送付しました。介護保険料収納率に関し、実績値は目標値を上回りました。			◇順調に進捗しています。	◇口座振替の推進や督促、催告を行い、収納率の向上を図ります。 ◇ケアプランのチェックや縦覧点検など、給付の適正化を図ります。 ◇介護予防事業の充実を図り、サービス給付費の増加を抑制します。				
				－	【目標】 ◇介護保険料収納率（3月末現在） 97.3% ◇介護予防事業の延べ参加者数 8,942人	－	【実績】 (3月末現在) ◇介護保険料収納率 98.76% ◇介護予防事業の延べ参加者数 5,571人	－	－	－	【目標】 ◇介護保険料収納率（3月末現在） 97.3% ◇介護予防事業の延べ参加者数 9,472人			
＜行政評価＞ ◇元気な後期高齢者の割合 ◇小規模特別養護老人ホーム整備														

- 取組状況の評価（具体的な内容） A：計画を越えて実施、B：計画どおり実施、C：一部実施できず、D：実施に至らず
- 取組状況の評価（成果・実績） A：達成、B：一部達成、C：未達成、－：評価なし（準備段階、他の制度で評価など）
- 取組工程に対する評価 A：順調に進捗しており、取り組みの目的は達成の見込み、B：取組に課題又は改善の余地はあるが、取り組みの目的は達成の見込み、C：進捗しているが、取り組みの目的は未達成の見込み、D：取組に課題又は改善の余地があり、取り組みの目的は未達成の見込み

大項目	中項目	番号	取組項目	取り組みの目的 ①	令和元年度						令和2年度			
					計画内容 (Plan) ②	②の取組状況 (Do)		経費・財政効果額 (集計用・非表示)	取組工程に対する評価 (Check)			見直し、改善事項 (Action)	計画内容 (Plan) ※下線部は変更箇所	
						具体的な内容	評価		成果・実績	評価				①に対する進捗状況
		4	後期高齢者医療特別会計の健全運営	保健事業を継続して実施するとともに、後期高齢者医療保険料の収納率向上を図ります。 ◇保健事業を継続して実施し、給付費の増加を抑制します。	◇口座振替の推進や督促、催告を行い、収納率の向上を図ります。 ◇保健事業を継続して実施し、給付費の増加を抑制します。	◇保険料決定通知や保険料変更通知に口座振替案内を同封しました。 ◇町の滞納処分の専門部署である債権管理課と連携し、催告事務を行いました。 ◇人間ドックを実施しました。	B	◇催告書を2回、引継予告を1回、差押事前予告を1回送付しました。後期高齢者医療保険料収納率に関し、実績値は目標値を下回りましたが、前年度同期（98.44%）は上回りました。 ◇130名が人間ドックを受検しました。	B	－	◇順調に進捗しています。	B	－	◇口座振替の推進や督促、催告を行い、収納率の向上を図ります。 ◇保健事業を継続して実施し、給付費の増加を抑制します。
			【目標】 ◇後期高齢者医療保険料収納率 （3月末現在） 98.8%	【目標】 ◇後期高齢者医療保険料収納率 （3月末現在） 98.7%	－	【実績】 ◇後期高齢者医療保険料収納率 （3月末現在） 98.46%		－		【目標】 ◇後期高齢者医療保険料収納率 （3月末現在） 98.7%				